

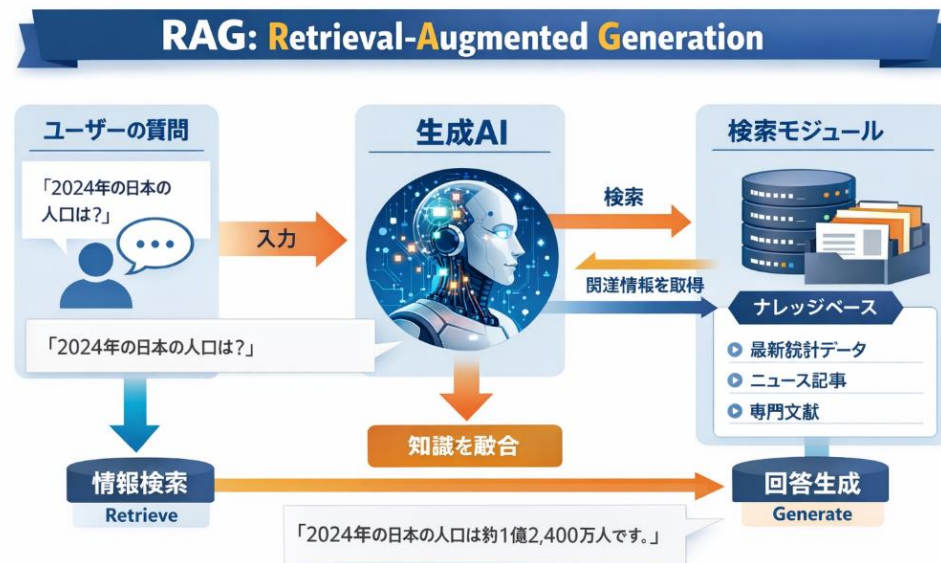
第11回オープンデータ・ラウンドテーブル 情報提供

2026/3/3

デジタル社会共通機能グループ オープンデータ・GIF担当

AIとオープンデータ

生成AIでもオープンデータが使われているとされています。
AIの学習に使われているほか、特定分野の知識を累積して正確な回答を行うAIなどで、正確なオープンデータが**知識データ**として使われています。
また、為替情報や天気予報のような**リアルタイム性の高いオープンデータ**をAIが直接参照することもあります。
特に、**自治体が公開する、地域固有の嘘や誤りの少ない（精度の高い）データの需要**が増えています。



これからのオープンデータ

・ RAG(検索拡張生成：知識データベースを用いて生成AIが回答を作成する仕組み)の知識データベースとしてオープンデータが活用。

・ 少し前では、PDFファイルのオープンデータは良くない、とされていました。生成AIでは、パワポファイルよりもPDFファイルの方が理解しやすいといった場合もあり、一概にPDFが良くないとは言えなくなっています。

・ 一方で、csvファイルのデータも、生成AIではデータの中身についての説明(メタデータ)が無いと理解が難しかったり誤って理解されてしまうなどの指摘も。

- 過渡期のため、現時点ではこれが正解！は言えないが、
 - * 鮮度(更新頻度)を高く
 - * 多種多様なデータを(特に地域性の高いものを)
 - * メタデータを付けて
 - * できるだけ二次利用可能な形で(PDFにはいつでもできる)データをオープンにしていきましょう。

デジタル庁
Digital Agency